

社会福祉法人啓友会 令和6年度 事業報告

1、評議員の状況

氏 名	職 業	他の社会福祉法人の評議員・役員・職員との兼務	評議員会への出席回数
富田善三郎	天草市監査員	無	1
久保山義教	無職	有	1
玉城 淳子	フラワーショップ経営	無	1
北 得美子	コンビニエンスストア経営	無	1
赤木 武男	天草市南地区民生委員	無	1
濱 仙明	無職	有	1
渡邊 弘樹	司法書士	無	1

2、評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数		
	評議員	理事	監事
R.6年6月13日	7人	3人	1人

3、理事・監事の状況

職 名	氏 名	職 業	理事会への出席回数	報酬の有無
理事長	松浦 郁太	法人理事長	3	有
理事	岡部 守信	社会福祉法人三心会理事長	3	有
理事	松浦 光毅	施設管理者	3	職員給与のみ
理事	中嶋 幸三	職員	3	職員給与のみ
理事	佐藤 葉子	職員	3	職員給与のみ
理事	泉 小百合	社会福祉協議会職員	2	有
監事	森 孝	無職	3	有
監事	堤田 照一	白い雲の会会長	3	有

4、理事会の開催状況

開催年月日	出席者数	
	理事	監事
H.6年5月24日	6人	2人
R.6年11月18日	6人	2人
R.7年3月24日	5人	2人

5、職員の状況

令和7年4月1日現在

①障害者支援施設 南海寮

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算数
		専従	兼務	専従	兼務	
管理者	1		1			0.7
医 師	1			1		0.1
サービス管理責任者	3		3			2.1
看護師	3	3				3.0
生活支援員	42	27	3	12		36.0
管理栄養士	1	1				1.0
調理員	8	7		1		7.8
事務員	3	2		1		2.7
用務員	3			3		1.9
合 計	① 65	40	7	18		55.8

②通所センターあいむ

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算数
		専従	兼務	専従	兼務	
管理者	1		1			0.1
サービス管理責任者	1		1			0.2
生活支援員	7	6		1		5.8
看護師	1	1				1.0
合 計	10	② 7	2	1		6.1

③南海寮グループホーム事業所

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算数
		専従	兼務	専従	兼務	
管理者	1		1			0.1
サービス管理責任者	1		1			0.2
生活支援員	4		3	1		2.5
世話人	4			4		2.2
合 計	10		5	③5		5.0

④相談支援事業所なんかい

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算数
		専従	兼務	専従	兼務	
管理者	1		1			0.1
相談支援専門員	③ 4	3	1			3.5
合 計	5	3	2			3.6

法人全体総職員数（①+②+③+④）	81 名
-------------------	------

⑤職員の年齢 ※法人全体

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60～64	65 歳～	70 歳～	計
男性	0	3	11	11	1	4	2	3	35
女性	0	5	8	14	10	1	5	3	46
合 計	0	8	19	25	11	5	7	6	81

⑥職員の経験年数 ※法人全体

	1 年満	1～3 年	3～5 年	5～10 年	10～15 年	15～20 年	20 年以上	計
男性	1	5	6	9	5	2	7	35
女性	2	7	8	9	10	3	7	46
合 計	3	12	14	18	15	5	14	81

⑦資格取得・研修修了状況

介護福祉士	28 名	音楽療法士	1 名
社会福祉士	7 名	強度行動障害基礎研修修了	36 名
保育士	5 名	強度行動障害実践研修修了	12 名
看護師	6 名	行動援護従業者養成研修修了	9 名
准看護師	4 名	痰の吸引等第三号研修修了	5 名
作業療法士	1 名	痰の吸引等指導者講習修了	1 名

⑧職員の退職・採用状況（令和 6 年度）

【常勤職員】

職種	退職	採用
支援員	0 名	2 名
合 計	0 名	2 名

【非常勤職員】

職種	退職	採用
支援員	2 名	0 名
合 計	2 名	0 名

⑨職員の年次有給休暇の平均取得日数・取得率（令和 6 年度）

平均取得日数／9.8 日（総取得日数÷職員数）

平均取得率／61.9%（年次付与日数÷取得日数）

6、利用者の状況

①利用者現在員

	令和6年4月1日期首	令和7年4月1日期首
施設入所支援	55名	55名
生活介護（本部）	15名	16名
生活介護（あいむ）	20名	18名
グループホーム	12名	13名
合 計	102名	102名

②施設入所者・グループホーム利用者の入退所（居）状況

サービス種別	入 所	退 所
施設入所支援	3名	3名
グループホーム	2名	2名

④ 利用者の年齢

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	計
入所	0	1	5	11	3	17	15	3	55
通所	0	7	3	5	1	0	0	0	16
あいむ	0	11	4	2	1	0	0	0	18
G H	0	3	2	5	1	1	1	0	13
計	0	22	14	23	6	18	16	3	102

④利用者の男女比

	男性	女性
入所	33	22
通所	14	2
あいむ	12	6
G H	6	7
計	65	37

⑤利用者の障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均
入所	0	0	0	3	14	38	55	5.6
通所	0	0	0	7	4	5	16	4.8
あいむ	0	0	1	2	9	6	18	5.1
G H	0	1	4	2	6	0	13	4.0
計	0	1	5	14	33	49	102	4.9

⑥サービス種別毎の利用実績

サービス種別	利用定員	開所日数	延べ利用者数	平均利用者数	前年比
施設入所支援	55 名	365 日	19,698 人	54.0 人	-0.9 人
生活介護（南海寮）	65 名	269 日	18,448 人	68.6 人	-0.9 人
生活介護（あいむ）	20 名	261 日	4,053 人	15.1 人	-1.6 人
短期入所	4 名	365 日	1,228 人	3.4 人	+0.2 人
グループホーム	13 名	365 日	4,535 人	12.4 人	0.0 人

⑦計画相談支援・障害児相談支援の実施状況（件数）

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特定：計画	2	6	6	8	2	6	6	6	5	0	4	15	66
特定：継続計画	18	24	45	16	18	32	15	21	43	25	16	24	297
障害児：計画	3	3	2	7	4	5	3	4	9	6	4	17	67
障害児：継続計画	11	10	18	9	8	14	9	6	5	10	8	8	116

7、主な事故発生状況

事故の種別	件数	病院受診件数
転倒・転落	5	0
誤飲・異食	0	0
誤薬（服薬介助ミス）	2	0
他害	2	0
器物破損	0	0
無断外出	0	0
介護器具等の取扱いによる事故	0	0
その他・不明	1	1
合 計	10	1

8、感染症発生状況

発生日	収束日	感染者数						種別
		利用者				職員	計	
		入所	通所	あいむ	G H			
6 月 23 日	7 月 11 日	8	0	0	0	6	11	インフル
1 月 16 日	2 月 3 日	21	0	0	0	2	23	インフル
計		29	0	0	0	8	34	

9、苦情・要望の状況

内 容	利用者	家族	その他	計
支援の内容について	1	1	0	2
施設側の対応について	0	0	0	0
合 計	1	1	0	2

10、主な修繕・施設整備・物品購入

◎南海寮ふれあい棟外壁塗装工事

11、地域における公益的取り組みの実施状況

取組名称	実施時期	取組内容
生計困難者レスキュー事業における支援の実施	通年	熊本県社会福祉法人経営者協議会が行う生計困難者レスキュー事業の実施要綱に基づき、延べ 12 件のレスキュー相談支援及び生活援助等を実施した。

12、総 括

令和6年度は4年ぶりに制限や制約のないスタートで始まるアフターコロナ元年度になりました。しかし、この4年余りの間で社会の常識は変化し、利用者様の状況も重度化が顕著となり、一部の慣例行事等をこれまで同様に実施することが困難になっていました。さらには、コロナ禍で外部との接触がはばかれたことにより、家族や地域との交流も激減していたことから、様々な事業運営の見直しが必要でした。

行事等については、利用者さんの要望を踏まえ、適宜変更や代替手段の措置を講じて実施しました。また、地域交流等については、新たにグラウンドゴルフ大会の企画・実施や、第2回目となるなんかいマルシェの実施に加え、いち早く地域連携推進会議も開催しました。また、通所センターあいむでは、日中活動の一環で行っていた周辺地域の散歩（運動・歩行訓練）の際に、火バサミとゴミ袋を持ってゴミ拾いを行う美化活動にも新たに取り組んでおります。家族との交流も、家族の高齢化等により年々利用者様との関係性が希薄になっている傾向にありますが、10月に実施した家族交流会（秋祭り）を始めとした家族参加型の行事も形式を変えながら実施をしているところです。

施設の事業活動や法人運営については、重点計画を始めその他の計画についても概ね計画通りの実施をすることができました。事業活動に係る経費は、人件費の高騰をはじめ、物価高騰や水道光熱費の高騰が多分に影響を及ぼしておりますが、補助金や交付金等を活用することでその影響を最小限に留めています。

令和7年度は事業創立50周年を迎えます。これまでの50年を支えてくださった全ての方に感謝をし、今後も地域福祉を担う中核的存在として、利用者様や地域の福祉ニーズに可能な限りお応えしていきたいと思っております。